

平成26年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第2回）議事要旨

1 日 時 平成26年7月24日（木）15：00～17：15

2 場 所 新見市役所 第5委員会室

3 出席者

（1）評価委員会 新中委員長、森口委員、杉委員

（2）事務局 関野係長、赤木主任

4 議 事

（1）平成25年度実績報告書及び財務諸表の評価等について

各委員の評価した内容を発表し、委員会としての意見をまとめた。

大項目Ⅱまでが終了し、大項目Ⅲ以降及び財務諸表の評価については、次回評価委員会（8月1日（金）午後1時30分～）において審議することとなった。詳細は、以下のとおり。

委員発言要旨	取りまとめ結果
<p>[項目別評価]</p> <p>I. 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>1) 教育内容</p> <p>(1) 教養教育</p> <p>P 8 ①教育課程</p> <p>○全国的に高校までの基礎学力に問題があると言われている中で、基礎ゼミナールのような教養科目の充実が専門科目を学ぶ基礎づくりにつながっている。</p> <p>P 8 ②外国語教育</p> <p>○海外研修への参加率は割と高いのではないかと思いますが、研修への参加率に捉われないほうが良い。</p> <p>○積極的に取り組んでおり改善はしているが、まだ努力の余地がある。</p> <p>P 8 ③情報教育</p> <p>○設備も充実している。</p> <p>P 9 ④実施体制</p>	<p>評定 4</p> <p>教養科目の充実により専門科目の向上へつながっており評価できる。</p> <p>評定 3</p> <p>外国語はますます重要になるので今後さらなる充実を図りたい。</p> <p>評定 4 特には意見なしとする。</p> <p>評定 3 特には意見なしとする。</p>

<p>○読書調査アンケートの参加率88%は評価できる。</p> <p>○山陽新聞社との連携協力が実施されていない。</p> <p>(2) 専門教育</p> <p>①新見公立大学</p> <p>P 9 a 看護学部看護学科</p> <p>②新見公立短期大学</p> <p>P 1 0 b 幼児教育学科</p> <p>○小学校での読書の時間への参加がとてもよいことだと思う。他の小学校へも拡大してほしい。</p> <p>P 1 0 c 地域福祉学科</p> <p>2) 教育の実施体制</p> <p>P 1 1 (1) 教育組織の整備</p> <p>P 1 2 (2) 教育の質の改善及び向上</p> <p>○学生による授業評価は評価できるものである。</p> <p>○授業が学生にわかりやすく改善されてきている。</p> <p>P 1 1 (3) 教育評価システムの確立</p> <p>P 1 2 (4) 教育環境の整備及び充実</p> <p>○図書館の開館時間延長が継続されており、学生に有効利用されている。</p> <p>○電磁ゲートの設置もよい。</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>1) 研究内容</p> <p>P 1 3 (1) 研究活動の充実</p> <p>○大学院の設置は大学の努力の結果である。</p>	<p>評価4 特には意見なしとする。</p> <p>評価4 小学校の読書への参加は評価できるので、更なる取り組みを期待する。</p> <p>評価4 特には意見なしとする。</p> <p>評価3 特には意見なしとする。</p> <p>評価4 特には意見なしとする。</p> <p>評価4 特には意見なしとする。</p> <p>評価4 図書館の開館時間を継続して延長していることが評価できる。</p> <p>評価4 大学院の設置を実現したことは評価できる。</p>
---	--

<p>P 1 3 ( 2 ) 研究成果を社会に還元 ○ 紀要の電子データの公開や年報記事の簡素化や経費縮減等努力がみられる。</p> <p>2) 研究の実施体制 P 1 3 ( 1 ) 実施体制</p> <p>P 1 3 ( 2 ) 研究の質の向上</p> <p>3 学生の確保及び支援に関する目標を達成するための措置 1) 優秀な学生の確保 P 1 4 ( 1 ) 学生の確保の基本方針 ○ 学生の確保については、努力がうかがえる。</p> <p>P 1 4 ( 2 ) 入試改革の実施 ○ 多くの出願者の確保ができているのは改革が行われている成果である。</p> <p>P 1 5 ( 3 ) 広報 ○ 大学案内などは良いものができている。 ○ フェイスブックの運用も開始しているが、どこの大学も実施しており目立つものではない。</p> <p>P 1 5 ( 4 ) 高校との連携 ○ 県内の高校教員に対する説明会が良い。高校訪問も継続して頑張られている。</p> <p>2) 学生への支援 P 1 5 ( 1 ) 学習支援 ○ 学習到達状況の把握、国家試験対策など個別の学習支援がしっかりできている。</p> <p>P 1 6 ( 2 ) 生活支援 ○ 入学した学生全員が卒業できるよう支援をしっかりと行ってほしい。</p>	<p>評定 4 紀要の電子データ公開や年報記事の簡素化や経費縮減は評価できる。</p> <p>評定 3 特には意見なしとする。</p> <p>評定 3 特には意見なしとする。</p> <p>評定 4 今後とも優秀な学生の確保に努力していただきたい。</p> <p>評定 3 入試制度は常に改善していただきたい。</p> <p>評定 3 特には意見なしとする。。</p> <p>評定 4 県内の高校教員に対する説明会は評価できるので、今後とも高等学校との連携に努められたい。</p> <p>評定 4 学生に対するきめ細やかな学習支援ができており今後も継続していただきたい。</p> <p>評定 4 学生の生活支援に対しては、授業料免除や奨学金制度の更なる拡充に行政も十分努</p>
---	---

<p>○生活支援の拡充について、さらに力を入れていただきたい。</p>	<p>力していただきたい。</p>
<p>P 1 7 ( 3 ) 進路支援 ○実績は良いので、今後も更なる情報提供をしていってほしい。</p>	<p>評定 4 学生が希望進路に進めるよう更なる情報提供に期待する。</p>
<p>4 地域社会との連携及び貢献に関する目標を達成するための措置</p>	
<p>1) 地域との連携及び貢献</p>	
<p>P 1 7 ( 1 ) 教育研究成果の地域還元</p>	<p>評定 4</p>
<p>○公開講座は参加者が多く充実している。</p>	<p>公開講座の充実は評価ができるので、引き続き努力されたい。</p>
<p>○幼稚園教諭等を対象とした専門研修は参加者からも好評である。</p>	
<p>P 1 8 ( 2 ) 地域との連携推進</p>	<p>評定 4</p>
<p>○教員の地域活動への参加は非常に努力されている。</p>	<p>精力的な地域活動への参加は評価できるものであり、引き続き地域との連携を深めていただきたい。</p>
<p>○「サテライト・デイ」や「こどもフェスタ」など学生の活動も好評であり評価できる。学生にとっても卒業後に役立つものである。</p>	
<p>P 1 8 ( 3 ) 教育機関との連携推進</p>	<p>評定 3 特には意見なしとする。</p>
<p>P 1 9 2) 国際交流及び国際貢献の推進</p>	<p>評定 3 特には意見なしとする。</p>
<p>II. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>	
<p>1 運営体制の目標を達成するための措置</p>	
<p>P 1 9 1) 運営体制の強化</p>	<p>評定 3 特には意見なしとする。</p>
<p>P 2 0 2) 学内資源の効果的配分</p>	<p>評定 3 特には意見なしとする。</p>
<p>P 2 0 3) 学外有識者の登用</p>	<p>評定 3 特には意見なしとする。</p>
<p>2 人事の適正化の目標を達成するための措置</p>	
<p>P 2 0 1) 人事制度</p>	<p>評定 3 特には意見なしとする。</p>

<p>P 2 0 2) 評価制度 ○評価制度の導入は非常に難しいものであり、大学側の苦心が感じられる。</p> <p>P 2 0 3) 人材の確保</p>	<p>評定 2 制度の確立に努力されたい。</p> <p>評定 3 特には意見なしとする。</p>
---	---

以上